



森の幼稚園へようこそ
港区立白金台幼稚園

5月園だより

平成28年4月25日
園長 新井 智子

〒108-0071
港区白金台
3-7-1
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>



新しい友達と仲良くなる会を行いました。どうぞ、よろしく！



わかば組の園庭探検
どこで遊ぼうかな、楽しそう！

であう3歳 ひろがる4歳 ふかまる5歳

園長 新井 智子

4月当初、新入園児は保護者から離れることの不安さから、泣き出したり心細そうな表情が見られたりしました。しかし、担任の先生を覚え、年長組の「お迎えタクシー」や優しいお世話もあって、園内で落ち着いて過ごせるようになってきました。探索行動も活発になり、保育室の玩具、園庭の遊具などを見て回ったり、園庭のこのぼりに関心をもって眺めたりしています。子どもたち一人ひとりが、部屋の隙間やゆったりと動く亀などそれぞれ見付けた物や場所で安定して過ごしています。

私はよく幼稚園の3年間を「であう3歳 ひろがる4歳 ふかまる5歳」と例えています。これは、幼児の学びの過程を表しています。

3歳児は、文字通り新たな人やものと出あい、全身を使って関わり「見付ける」「気付く」ことから学びます。また、初めての社会生活の中で様々な喜怒哀楽の感情も知ります。

4歳児は、それまでの出あいから得られた学びを、繋ぎ、広げていきます。友達関係が広がり、いろいろな遊びを試すのもこの時期です。

5歳児は、さらに探究心や好奇心を満たすために、じっくりと遊びに取り組むようになります。自分だけではなく、友達と共通の課題を解決するために試行錯誤することもあるでしょう。積み重ねてきた経験を生かし、人と関わりながら遊びを創造し、生きていくための様々な学びを深めていくのです。

この学びの過程に必要なのが、幼児自ら関わる人やものや出来事などの『環境』です。教師は「であい・ひろがり・ふかまり」を「環境」によって指導します。いかに興味・関心を引き出せるか、挑戦意欲が沸くようになるかなど、環境構成に知恵を絞っていくのです。幼稚園の教育が「環境を通して行う教育」と言われる所以です。

「であう3歳 ひろがる4歳 ふかまる5歳」

豊かな1年になることを願います。

<今月の指導のねらい>



3歳児

- 喜んで登園し、教師や周りの友達に親しみをもち、自分のしたい遊びを見付けて遊ぶ楽しさを感じる。
- ダンスや簡単な集団遊びをして、学級のみんなで一緒にする楽しさを味わう。
- 幼稚園での生活の仕方を知り、教師と一緒に身の回りのことを自分なりにやってみようとする。

4歳児

- 自分の身の回りの始末の仕方や生活に必要なことが分かり、自分でする。
- 好きな遊びをしながら、自分の思いやイメージを出して、友達と触れ合って遊ぶことを楽しむ。
- 戸外で過ごす心地よさや体を動かして遊ぶ楽しさを感じる。

5歳児

- 一緒に遊ぶ友達に自分の思いや考えを伝えながら、遊びを進めようとする。
- 大型積み木や巧技台等の新しい遊具の扱いに慣れて、園庭で場作りをしたり、友達と一緒に思い切り体を動かしたりして遊ぶことを楽しむ。
- 身近な自然や栽培物を見たり、触れたり、世話をしたりする中で、不思議さや面白さを感じたり、変化に気付いたりする。